

第一回 がんとハイポキシア研究会プログラム

2003年11月16日

プログラム	開始時間	終了時間	演題番号	名前	演題
挨拶	9:00	9:05		平岡 真寛	
研究会 Introduction	9:05	9:10		井上 正宏	
セッション1 (HIF-1)	9:10	9:30	1.1	広田 喜一	セッション1 イントロ/HIF-1 の様々な人為的な活性調節法
	9:30	9:45	1.2	安元 研一	低酸素誘導による HIF-1 の活性制御機構
	9:45	10:00	1.3	原田 浩	HIF-1α の発現を制御する因子の探索
	10:00	10:15	1.4	牧野 雄一	IPAS による生体低酸素応答制御の分子機構
	10:15	10:30	1.5	大根田 修	血管新生における HIF-2α の機能解析
休憩 (20分)	10:30	10:50			
セッション2(HIF-1)	10:50	11:10	2.1	谷本 圭司	セッション2 イントロ/固形癌における HIF-1α 遺伝子多型の意義
	11:10	11:25	2.2	近藤 慶一	VHL 蛋白は HIF の翻訳後制御を介して腫瘍増殖を抑制する
	11:25	11:40	2.3	安田 誠一	肝細胞癌と転移性肝癌における HIF-1 蛋白発現と解糖系酵素発現との関連性とその意義
	11:40	11:55	2.4	篠島 利明	腎癌細胞株における HIF1 発現の検討
昼食休憩 (55分)	11:55	12:50			
セッション3(Biology)	12:50	13:10	3.1	井上 正宏	セッション3 イントロ/腫瘍血管新生とハイポキシア
	13:10	13:25	3.2	赤木 清	背皮弁観察窓を用いた腫瘍血管の増殖動態について
	13:25	13:40	3.3	神奈木 玲児	ハイポキシアに伴うがん細胞の糖鎖変化
	13:40	13:55	3.4	紅林 淳一	低酸素による乳癌の悪性形質進展に関する基礎的検討
	13:55	14:10	3.5	富田 章弘	ストレス応答と抗がん剤感受性・耐性
休憩 (20分)	14:10	14:30			
セッション4(Cell death)	14:30	14:50	4.1	小林 正伸	セッション4 イントロ/低酸素適応応答を標的とした癌治療法の可能性
	14:50	15:05	4.2	清水 重臣	低酸素細胞死とアポトーシス
	15:05	15:20	4.3	芝崎 太	HIF の新たな制御因子による癌化および細胞死の制御
	15:20	15:35	4.4	竹永 啓三	腫瘍内低酸素によるアポトーシス抵抗性がん細胞の選別と低酸素下アポトーシス抵抗性細胞に対する遺伝子治療の試み
休憩 (20分)	15:35	15:55			
セッション5(Therapy)	15:55	16:15	5.1	近藤 科江	セッション5 イントロ/低酸素特異的癌細胞を標的とした新規抗がん蛋白製剤の開発
	16:15	16:30	5.2	永沢 秀子	ハイポキシアを標的とするがん治療薬の開発研究
	16:30	16:45	5.3	藤森 実	嫌気性菌ベクターを用いた固形癌の腫瘍選択的治療
	16:45	17:00	5.4	柴田 徹	放射線腫瘍学における低酸素の意義とその克服に向けた試み
	17:00	17:15	5.5	村山 千恵子	高酸素親和性ナノサイズ人工酸素運搬体(リボソーム封入ヘモグロビン)による虚血治療の可能性 - 放射線治療効果増強
総合討論	17:15	17:45			